

# 平成 26 年 9 月 21 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

司 会 : 片岡洋一兄  
奏 楽 : 米田 香姉  
おいのり : 持田樹理姉  
さんび : 新聖歌 200 「心に悶えあらば」 1. 2. 3 節  
十 戒  
聖 書 : ヨハネによる福音書 12 章 12~19 節 (P.160)

(朗読: 加藤由美子姉)

音 楽 : 倉知 契牧師  
証 し : 二宮雅信兄

メッセージ : 「 はじまりのひと筆 」 倉知 契牧師

賛美 と 献金 : 明日はどんな日か  
頌 栄 : ハレルヤ(Bb)  
祝 禱  
報 告

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を心から歓迎します。お昼ご飯もぜひ一緒に！
- ◇ 先週の8周年記念礼拝が祝福されたことを共に喜びましょう。
- ◇ 来週はオープン礼拝(証は赤塚兄)、持ち寄り愛餐会もあります。
- ◇ 10/5は大和から若者たちがミッショントリップでやってきます。
- ◇ 10/19は「氷点」スペシャル、10/25(土)はジョイキッズ秋祭り
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/木曜祈禱会后 会堂掃除  
9月27日(土) 準備いのり会は、お休み。
- ◇ 祝大 Aコース IIコリント6~11章 Bコース 箴言25章~伝道の書12章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年9月28日] [愛餐会]  
[司会:平松章治兄、いのり:加藤由美子姉、聖書朗読:平松友子姉]  
[ピアノ:小島明美姉、賛美リード:小島 誠兄]  
[アシスト:大神美乃姉、大神久美姉]  
[献金:赤塚孝子姉、太田昌子姉、受付:加藤和代姉]  
◇PA:平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集:片岡洋一兄  
◇ホームページ編集:大神真伸兄 ◇日曜学校:持田樹理姉



先週は献堂8周年をお祝いしました。なんと111名も来てくださり、そのなかの半分の方が未信者の方でした。未信者とは「未来信じる人」。洗礼式がまた良い証しになりました。多くの方をお迎えするため、皆様が本当に温かく細やかな心遣いで準備してくださったので、大成功でした。手造りの食事・お菓子も、駐車場も、販売も、クワイアも、ウクレレも用いられて感謝感激。共に主の教会にお仕えできて幸せです。改めて皆様の愛に溢れたご奉仕にお礼申し上げます。主に栄光！

西由起子さんの歌声も最高に素晴らしかったですね。メサイヤから

「Rejoice」を歌っていただきましたが、喜びの日にぴったり！しかも歌詞はゼカリヤ書9章9節から「シオンの娘よ、大いに喜べ」でしたが、実はこのあとに、「彼は義なる者であって勝利を得、柔和であって、ろばに乗る。すなわち、ろばの子である子馬に乗る。」とあります。これが今日の引用される聖書箇所とは、不思議ですね。

この「メサイヤ」をヘンデルが作曲したのは56歳の時。彼の生涯の中で最もつらく苦しい時期でした。当時彼は、脳卒中のため右半身がほとんど麻痺し、リュウマチのために思うように手足が動きませんでした。さらに彼の音楽の最も良き理解者、支援者であったキャロライン王妃が亡くなります。健康を失い、経済的な基盤を失い、彼は失意のどん底でした。そのなかで、自分に残されているものは何だろう考えたのです。そして、「自分にはイエス・キリストに対する信仰がある」と気づき、もう一度聖書を読み始めます。そして心に刺さったのがイザヤ書53章。『しかし彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために碎かれたのだ。彼はみずから懲らしめを受けて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。イザヤ53の5』 「こんなにも愛されている」と彼は感謝に溢れ、貧しいアパートの一室で、たった24日間で「メサイヤ」を書いたのです。

8周年を迎えた私たちも、「バック・トゥ・ザ・バイブル」もう一度聖書を読み始め、メサイヤ(救い主)の愛に心燃やされてお仕えしたいと思います。現実に困難や病があっても、「大いに喜べ」と言われる主を見上げてゆくならば、ヘンデルも驚く「救いの交響曲」が奏でられるでしょう。さあ新しい季節の到来です！

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契

Sitting on a donkey's colt.

ヨハネ福音書十二の十五

「シオンの娘よ、恐れるな。見よ、あなたの王がろばの子に乗っておいでになる」